

## 平成28年度 環境中のダイオキシン類の調査結果について

ダイオキシン類対策特別措置法第26条に基づき、平成28年度に奈良市が実施した環境中の大気、水質、土壌等のダイオキシン類の調査結果は、次のとおりです。

環境媒体	地点数	平均値	濃度範囲	環境基準
大気 (一般環境)	2	0.013	0.0055 ~ 0.019	0.6
公共用水域水質 (河川)	2	0.073	0.061 ~ 0.084	1
公共用水域底質 (河川)	2	0.23	0.21 ~ 0.24	150
地下水質	2	0.087	0.054 ~ 0.12	1
土壌 (一般環境)	1	0.0016	—	1,000

(単位：大気 pg-TEQ/m<sup>3</sup>  
水質 pg-TEQ/L  
底質 pg-TEQ/g  
土壌 pg-TEQ/g)

環境中の大気、公共用水域水質、公共用水域底質、地下水質、土壌のダイオキシン類について、市内9地点で調査を実施した。  
その結果、大気、公共用水域水質、公共用水域底質、地下水質、土壌の全地点において環境基準を達成していた。

### 測定方法

#### 大気

「ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル」

(平成20年3月環境省水・大気環境局総務課ダイオキシン対策室、大気環境課)

#### 公共用水域水質及び地下水質

JIS K 0312

(工業用水・工場排水中のダイオキシン類の測定方法)

#### 公共用水域底質

「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」

(平成21年3月環境省 水・大気環境局水環境課)

#### 土壌

「ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル」

(平成21年3月環境省 水・大気環境局土壌環境課)

## 用語解説

- ・ダイオキシン類  
 ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン (PCDD)、ポリ塩化ジベンゾフラン (PCDF)  
 及びコプラナーポリ塩化ビフェニル (コプラナーPCB) の総称
- ・pg (ピコグラム)  
 g (グラム) の1兆分の1の重量を表す単位
- ・TEQ (毒性等量)  
 ダイオキシン類の実測濃度にTEF (ダイオキシン類の異性体の中で最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン (2,3,7,8-TCDD) の毒性を1としたときの他の異性体の相対的な毒性) を乗じて合計したもの

### 【参考】

全国における環境中のダイオキシン類濃度の状況  
 平成28年度ダイオキシン類に係る環境調査結果 (平成30年3月環境省)

(単位 : 大気 pg-TEQ/m<sup>3</sup>  
 水質 pg-TEQ/L  
 底質 pg-TEQ/g  
 土壌 pg-TEQ/g)

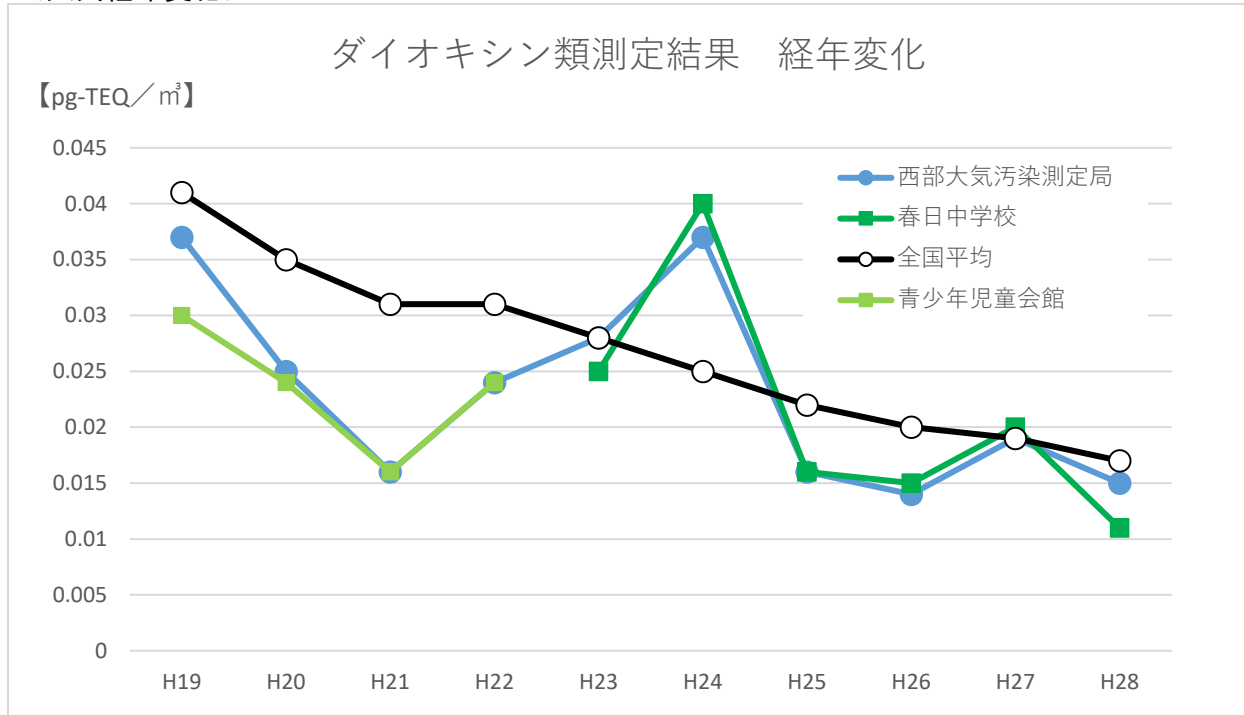
環境媒体	地点数	平均値	濃度範囲	環境基準
大気 (一般環境)	493	0.017	0.0034 ~ 0.17	0.6
公共用水域水質 (河川)	1,132	0.21	0.011 ~ 2.4	1
公共用水域底質 (河川)	917	6.4	0.053 ~ 510	150
地下水質	513	0.055	0.0073 ~ 3.7	1
土壌 (一般環境)	577	2.0	0 ~ 130	1,000

ダイオキシン類（大気）調査結果（平成28年度）

（単位：pg-TEQ/m<sup>3</sup>）

調査地点	調査月	7月	1月	平均値	環境基準
西部大気汚染測定局 （百楽園四丁目）		0.011	0.019	0.015	0.6
奈良市立春日中学校 （西木辻町）		0.0055	0.016	0.011	

<大気経年変化>



注) 平成22年度に青少年児童会館（西木辻町200）が閉館したため、平成23年度より春日中学校（西木辻町67）へ調査地点を変更している。

ダイオキシン類（公共用水域（水質・底質））調査結果（平成28年度）

（単位：水質 pg-TEQ/L）  
底質 pg-TEQ/g）

調査地点	調査月	水質 （環境基準：1）	底質 （環境基準：150）
大和川水系（富雄川） 大和田橋（石木町）	11月	0.084	0.21
大和川水系（菩提川） 菩提川流末（恋の窪三丁目）	11月	0.061	0.24

ダイオキシン類（地下水質）調査結果（平成28年度）

（単位：pg-TEQ/L）

調査地点	調査月	調査結果	環境基準
秋篠町	11月	0.12	1
六条町	11月	0.054	

ダイオキシン類（土壌）調査結果（平成28年度）

（単位：pg-TEQ/g）

調査地点	調査月	調査結果	環境基準
針ヶ別所町（六郷小学校）	11月	0.0016	1,000